



# 通級だより



静岡聴覚特別支援学校

通級指導教室

2025年11月号 編集 久永

## 第2回通級生の集い：本校児童生徒や卒業生との交流

10月18日(土)に第2回通級生の集いを行い、14人の通級生が参加しました。今回は、「通級や、聴覚特別支援学校の友達の名前や顔、好きなことなどを知って仲良くなること」「先輩の話を参考に、中学校卒業後の自分について想像し、自分が頑張りたいことを見付けること」を目標に活動しました。本校の授業に参加し、見て分かる配慮がされている環境の中での学習を体験しました。また、通級生同士で楽しめる活動をしたり卒業生の体験談を聞いたりしましたので、様子をお伝えします。

### 和太鼓で演奏しよう！（本校生との交流）



「話している人の方を見ながら話を聞くこと」「聞こえやすい位置で話を聞いたり、分からないときにはもう一度言うてもらうようお願いしたりすること」を目標に、本校の中学生と交流を行いました。教えてくれる中学生の顔をしっかりと見て、バチの持ち方や立ち方、リズム通りに演奏するコツなどを聞き取り、上手な太鼓の叩き方を習得しようとする姿が印象的でした。恥ずかしい気持ちや周りの状況から、分からなくても聞き返すことができなかつた子どもが多かつたようなので、これからも、『聞き取れないときは聞き返し、自ら行動する』という経験を積んでいきたいですね。授業の最後は、教えてくれた中学生と一緒にカッコいい演奏をすることができました。



### 先輩の話を聞く会（先輩との交流）



小学生時代は地域の学校で学びながら通級指導を受け、中学生時代は本校に在籍した二人の先輩からお話を伺いました。

『地域の学校と聴覚特別支援学校の学び方や心境の違い』や『進路先を決めたポイント』、『自分の特性について周囲に発信することの大切さ』等について、経験を通して感じたことを詳しく話していただきました。参加した通級生からは、「コミュニケーションを取るのが苦手で、自分の特性を発信することが少なかったけれど、これからは頑張つて発信しようと思った。」「自分の出来ることと出来ないことを知り、出来ないことはどこまで出来なくてどのような配慮をしてほしいのかを伝えられるように頑張ろうと思った。」等の感想が聞かれました。

今の自分と向き合い、将来に向けて、今から取り組みたいことを考えるための大変貴重な時間になりました。



## 体育の授業（本校生との交流）



今回行った『セストボール』は、チームのみんなでパスをしながらボールを運び、円の中心にあるゴール（玉入れのかご）へシュートする、ゴール型のゲームです。初めて行うゲームでしたが、やり方に関する説明を聞いたり、ホワイトボードに提示された文字や絵カード、実演を見たりしてやるのが分かり、グループごとにパスの練習に取り組むことができました。グループ対抗戦では、パスが欲しいことを伝えるために手で合図を送ったり、パスをすることが分かるように名前を呼んだりするなど、工夫して活動する姿が見られました。本校生と通級生が互いに力を合わせて取り組み、親睦を深めることができました。



## 昼食作り・買い物学習（通級生の交流）



昼食作りでは、小学1～3年生が白玉団子作りに挑戦し、小学6年生がエスポートへ焼きそばの材料を買いに行きました。そして、全員で焼きそば作りをしました。初めにグループで話し合って作業分担を決めました。その後、手順表の文字や写真をグループで何度も見直ししながら材料や分量を確認したり、手順表を指さして「次は〇〇を入れるよ。」と声を掛け合ったりするなど、見通しをもち協力して調理を進めていました。調理の音や話し声で騒音が多い環境でしたが、他のグループの近くに行って、大きめの声で「おいしそうだね！すごいね！」と嬉しい気持ちを友達に伝える姿も見られました。配膳までグループで力を合わせて行い、完成した昼食を食べながら、「おいしいね！」と会話を楽しみ、「みんなで協力して焼きそばやフルーツポンチを作って、もっと仲良くなった。」という感想が聞かれました。

普段は別々の学校で学習している通級生ですが、昼食作りを通してお互いのことを知ったり、仲を深めたりすることができました。



～第3回通級生の集いは、2月14日（土）です。学習のまとめの発表会と交流活動を行う予定です。～